

## 2023 年度 X(旧 Twitter)実績から見る拡散される要素について

出川実樹

(横浜市立野毛山動物園)

野毛山動物園では、情報発信の強化を目的として、ソーシャルネットワーキングサービスを運用している。運用している媒体のうち、最も拡散される力が大きいとされている X に着目し、2023 年度における投稿から、多くのユーザーに拡散されている投稿の傾向について調査を実施した。拡散機能である「リポスト」の数値を調査した。拡散される要素として、「飼育員の目線で見られないもの」、「一目見た際のインパクトが大きいもの」、「話題性のあるもの」の 3 点が判断できた。この調査を通して、今後、野毛山動物園が X を効果的に運用するためには、特性や主なユーザー層を把握し、その層に向けたアピールができる投稿を心掛けることが重要であることがわかった。また、どの投稿が来園のきっかけとなったかについて、把握することも必要となる。投稿にあたっては、拡散される要素と、動物園として伝えたい教育普及や広報をいかにして一体化させるかが重要になると考えた。